

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AA361／キリスト教学講義 7 (Lectures on Christian Studies 7)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	比較宗教学1		
担当者名 (Instructor)	佐藤 清子(SATO SEIKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CHS2803	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

現代社会の社会と宗教の関係について講義を行う。かつては「世俗化」が論じられ、宗教は重要性を失うと見込まれた。だが近年の「宗教復興」現象はその予想を覆し、宗教は未だ問題として残り続けている。この授業では、とくに近年の世界の宗教復興について事例に基づいて学習するとともに、歴史上、宗教が様々な社会の問題に対してどのような影響を与えてきたのかを多角的に考察する。

受講生はこれらの知識を身につけ、現代社会に生きる一市民として、多様な他者との共存について考察することを目指す。

This lecture will focus on the relationship between society and religion in today's society. Researchers once developed secularization theories and many expected religion would lose its importance in the modern world. However, recent religious revivals have overturned this expectation. Religion continues to be an issue even today.

In this class, we will study the religious revivals in the world based on case studies, and also examine how religions have affected social issues in history from various perspectives.

Students will acquire this knowledge and consider how to coexist with diverse others as citizens living in modern society.

授業の内容(Course Contents)

授業前半では、アメリカの福音派の興隆、西欧におけるイスラーム教徒の増加とイスラーム復興、オカルトやスピリチュアリズムの世界的流行を事例として取り上げる。また、現代におけるもうひとつの宗教性として無宗教を論じる。授業後半では宗教と社会問題についての事例として、アメリカの人種問題と宗教のかかわりを論じる。

In the first part of the class, we will study the rise of evangelicalism in the United States, the growth of the Muslim population and Islamic revival in the Western world, and the worldwide popularity of occultism and spirituality. We will also discuss nonreligion as an alternative form of religiosity in today's world.

In the second part of the class, we will deal with the relationship between race and religion in the United States as a case study of religion and social issues.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション——世俗化論と宗教復興
2. アメリカ合衆国の福音派①——福音派とはだれか
3. アメリカ合衆国の福音派②——教育問題
4. アメリカ合衆国の福音派③——性と家族の問題
5. イスラーム復興①——植民地主義とイスラーム
6. イスラーム復興②——ヴェール問題
7. オカルト・スピリチュアリズム①——西洋と非キリスト教の出会い
8. オカルト・スピリチュアリズム②——グローバル化と宗教文化
9. 無宗教という宗教性
10. 人種問題と宗教①——アメリカの奴隷制と宗教
11. 人種問題と宗教②——アメリカ南北戦争と宗教
12. 人種問題と宗教③——公民権運動と宗教
13. 人種問題と宗教③——現代の白人至上主義と宗教
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前に配布する講義資料に目を通しておくこと。授業後は復習を行うこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

毎回の出席とレスポンス(60%)／最終レポート(Final Report)(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 大西直樹、千葉眞編、2006、『歴史のなかの政教分離:英米における その起源と展開』、彩流社 (ISBN:9784779111518)
2. ルネ・レモン、2010、『政教分離を問いなおす:EUとムスリムのはざまで』、青土社 (ISBN:9784791765362)
3. マーサ・ヌスバウム、2011、『良心の自由:アメリカの宗教的平等の伝統』、慶應大学出版会 (ISBN:9784766418149)
4. 島菌進、磯前順一編、2014、『宗教と公共空間:見直される宗教の役割』、東京大学出版会 (ISBN:9784130104104)
5. 堀江宗正編、2019、『宗教と社会の戦後史』、東京大学出版会 (ISBN:9784130104128)
6. 伊達聖伸編、2020、『ヨーロッパの世俗と宗教—近世から現代まで』、勁草書房 (ISBN:9784326102860)

その他授業中に指示する。

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

授業は講義形態で行うが、毎回レスポンスの提出を求めるので積極的に受講してほしい。
資料の配布には Blackboard を活用する。

注意事項 (Notice)